

2019年7月17日

## 輸送動向について（2019年度第1-四半期）

### 1. 輸送概況

コンテナは、エコ関連物資が関東地区内での建設発生土輸送が順調に推移したため前年を上回った一方で、食料工業品は清涼飲料水の九州地区向けが低調に推移したほか、紙・パルプは国内需要減少に伴って関東地区向けで減送となった。また、化学工業品、化学薬品は米中貿易摩擦の影響により中国向けの輸出に関連する輸送を中心に輸送量が落ちた。農産品・青果物は東北・新潟・北陸各県から民間流通米の輸送が減少したことおよび北海道産の昨年度産の在庫薄となったことにより前年を下回った。さらにゴールデンウィークが長期連休となり稼働日が減少したことも重なり、コンテナ全体では前年比 95.8%となった。

車扱は、石油が4月の気温が低く推移したことによって灯油の需要が増加したため、好調な荷動きとなった。車扱全体では前年比 101.5%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 97.2%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	1-四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,181	5,410	95.8%
車扱	1,888	1,860	101.5%
合計	7,069	7,270	97.2%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	342	363	-21	94.0%
	化学工業品	479	516	-37	93.0%
	化学薬品	337	362	-25	93.1%
	食料工業品	913	979	-66	93.2%
	紙・パルプ	635	676	-41	93.9%
	他工業品	374	395	-21	94.8%
	積合せ貨物	711	718	-7	99.0%
	自動車部品	220	228	-8	96.4%
	家電・情報機器	106	109	-3	97.4%
	エコ関連物資	143	115	28	124.5%
	その他	921	949	-28	97.0%
コンテナ計	5,181	5,410	-229	95.8%	
車扱	石油	1,285	1,238	47	103.8%
	セメント・石灰石	274	275	-1	99.8%
	車両	189	184	5	102.4%
	その他	140	162	-22	86.3%
	車扱計	1,888	1,859	29	101.5%
合計	7,069	7,270	-201	97.2%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)